

(1989年 12月)

No 248 5y

## I O T A A S - 4 1 隠岐島 ペディション記

J A 3 E M U / 4

J A 4 D N D / 4 (記)

### 〈単純な思い付きから．．．．〉

たまには呼ばれる側になってみたいという単純な発想から同じ島根県にあって比較的ヨーロッパからリクエストの多い I O T A / A S - 4 1 隠岐島へ行って見ようと計画したのが今年の夏休み前でした。同じ島根県でも私自身まだ一度も行ったことがなく又一人で行くには何かと不便(荷物の運搬等)な為田中 O M に声をかけたところ 10月の連休なら同行できるとのことでさっそく日程調整にかかりました。

### 〈隠岐島は日本海にあります．．．〉

隠岐島は最も大きな道後(どうご)と小さな4つの島からなる道前(どうぜん)とに分かれ、本土から70 KMの日本海にあり、観光と漁業が中心のいわゆる過疎の島です。春から秋にかけては全国から釣りマニアがドット押し寄せてその道の方には有名なところだそうです。また、歴史的にみても後鳥羽上皇や後醍醐天皇が島流しされた遠流の島としても知られ今でも宮内庁直轄地があり、国ガ海岸等の日本海特有の断崖絶壁の景勝地でも知られ観光地としても急速に開発が進んでいます。しかし今回はこれらについてはまったく関係なくどこで運用するかが最大の課題であります。

### 〈目的にぴったりの場所があった!〉

道後で唯一の D X e r J F 4 K C K 局にお空で相談しているうちに以前 C Q 誌に道前のあるところで町が観光客誘致の一環として H A M 用の設備を山の上に常設しているとの記事を思い出したのです。さっそく記事を検索するとともに、町の観光協会に連絡をとり我々の目的にほぼ合致することを確認してさっそく予約を済ませました。

場所は隠岐郡海士町(あまちょう)でその名も" A M A W I R E L E S S L O D G E "。

後日パンフレットを頂き、またこの島の唯一のハムで実質ここの運営、管理をされている J G 4 I K R (浜中 O M) 局に設備やロケーションについていろいろ教えて頂きました。( M N I T N X ) それによれば、小高い山のほぼ頂上にあり A C 1 0 0 V は勿論、12 m のクランクアップタワーに 3 E L トライバンド八木、7 はダイポール、2 台同時運用できる固定デスクにトイレ、流しまで付いた 10 畳位の広さの専用ジャックがありトランシーバーだけを持ちこめば即運用できるとのこと、運用面での問題はなさそうです。

### 〈いよいよ出発〉

10月7日(土)前泊の田中 O M と一緒にフェリー乗り場へ急ぎ 9 : 3 0 発の"おきじ"に乗船。90%は釣り客でフェリーの中は釣竿とクーラーであふれ我々は何か場違いの所にいる感じさえる光景でした。波も比較的静かで心配された船酔いもなくうとうとしている間に午後1時過ぎ海士港に入港。途端にマイクで我々の名前が呼ばれびっくりして案内所に行くと電話でお世話になった浜中さんが愛用のジムニーで出迎えて頂いていたのです。ご好意に甘え旅館宛に事前に宅急便で送っておいた荷物も W I R E L E S S L O D G E まで運搬して頂きました。L O D G E へは車で約1

0分のところであり電話で聞いていた通りロケーションは抜群、ほぼ360度水平線が見えではありませんか(オーバーか?)

### 〈ハブニング!!〉

はやる気持ちを押さえて2局同時運用できるように用意してきた21MHz用3EL八木の組み立てから取りかかりました。これは付近にあった丸太に固定し、それを桜の木にくくり付けて完了。アルミのスライド梯子迄用意されていて至れり尽くせりでした。

トライバンダーはクランクアップのウインチを巻き上げてこれも完了。ついでにタワーに上ってみると周囲のすばらしい眺めが一望できますます期待が大きくなってきました。

さて調子はどうかと田中さん持参のICOM750AにANTをつないでみたら何とコネクター部の接触不良。「おまえの用意した同軸の半田付けだじょうぶか」「自信はあるが、一応やり直してみよう」やなり同じ。とうとうトランシーバーの蓋を開き本格的に修理作業に掛かることになりました。悪戦苦闘30分。結局P板と出力コネクターをつなぐリード線のP板側の半田が振動で半接触になっていたためと分かり無事終了。工具と半田ごてを持ってきてよかった。(私の疑いが晴れた)

### 〈OH! 呼んでくる 呼んでくる!〉

まずJA3EMU/4は21でJA4DND/4は28でそれぞれ運用開始。4時半を少し回っていましたがEUのオープンですぐにバイルになり休む暇もなく6時までノンストップでマイクを握りました。いつも呼ぶ側で苦いおもいばかりでしたが今は違うと自分に言い聞かせてその感激を味わいながら、また出来るだけ多くの局を取るように努め、いわゆるスプリットで能率をあげることも試みました。そしてよく言われることですがラスト2レターよりフルコールで呼ばれた方が能率よくQSOできたように思います。実は旅館までの交通手段として6時にタクシーを予約してあったためやむを得ず一時QRTせざるをえなかったのです。旅館での夕食後旅館の軽ライトバンを借用することにし、飲物、夜食を買って慣れない夜の山道をLODGEに向かいました。ちょうど眼下には奇麗な漁火があらこちらにみられ、街のネオンとはずいぶん違ったロマンチックな風情がありましたが、男二人にはまったく縁のない光景でした。8時より再びQRV。まだまだEUがオープンしてすぐバイルになりうれしい悲鳴でした。。21でこのベディションのきっかけの一つを提供してくれたI1KFB(Franko)が呼んできてくれた。お前の信号はとても強いと言われにんまり!

一時14にQSYしたり、CWに移ったり呼ばれる楽しさを満喫しました。しかし午前0時を回る頃から疲れが見え始め"明日もある"ということで後ろ髪を引かれる思いで旅館へ戻りました。

### 〈睡眠不足でもがんばるぞー〉

朝のローバンドをやるには4時には起る必要がありましたが約1名バスとのことで結局私だけが一人また借りた車で真っ暗な山道を上って行きました。10月8日、4時30分着。14のEUが強力に入感してしまっていたので7がオープンするまでここでサービスすることとし、いざ開始するとここでも呼ばれるは呼ばれるは、気がつくともう既に夜が開けて朝日が眩しくシャックに差しこんでいました。あわてて7を覗いて皆さんに"GOOD MORNINNG!"。マサルさんのMC



で約30局のEUとQSOできました。ANTは4mHの短縮ダイポールだがロケーションのせい  
 かまずまずであった。朝食の時間がきたためまた車で旅館へ。すでに田中さんもお目覚め。

〈今度はクラウンでー〉

朝食後今度は主人愛用のクラウン(ちょっとへばっていたがたぶんこの島には一台しかないだろ  
 う)を借用し(決して無理に頼んだ訳ではありません)再び山へ。朝は21、28ともWがFBで  
 しばし快感を味わい隠岐島を大々的にPRできました。これでグローバルな観光客誘致に効果があ  
 ったと思うのですが、。EUに比べるとWは比較的少ないようでしたので、やがてパイルも少なく  
 なり11時旅館へ。昼食、仮眠後またLODGEへ。もう道にも慣れた。5時から7時までまた猛  
 パイル。浜中さんにせっかく差し入れていただいたお茶を飲む暇もないくらいでした。約束の夕食  
 時間に遅れてはまずいのでやむを得ずQRTし7時半旅館着。夕食後またLODGEへ向かった。  
 もうここまでくると旅館の人も気を使ってくれて”お仕事たいへんですねー”。これには二人とも  
 返す言葉もなく笑ってごまかすのがせいっぱいでした。

23:30。”疲れたなー””明日はフェリーの時間まで余りないから今夜のうちに撤収しよう”  
 ということで、深夜の撤収作業となりこれも午前1時過ぎ無事終了、下山。

〈また来よう...〉

10月9日。朝食後荷物を送り出し10時海士港発のフェリーで帰途に着きました。  
 そもそもたまにはパイルを裁いてみたいというきわめてレベルの低い発想からみじかな隠岐島へ出  
 かけた訳ですが同じQSOでもその価値はずいぶん違ったものになったと思います。そして呼ぶ側  
 に立ったときこの経験がきっと役立つことでしょう。また来年も来よう!そしてチャンスがあれば  
 リアントリーへ行行って本格的なDXベディションをやりたいなー。

〈SPECIAL THANKS TO EDXG〉

EDXG 20周年記念行事の一環ということでEDXGから多大な援助をいただき誠にありが  
 とございました。次のように使用させていただきましたので御報告させて頂くとともに、お礼に  
 かえさせていただきます。

LODGE 使用料 2人*2日	4000
QSLカード印刷代の一部	6000
	<hr/>
	10000

〈QSO 結果〉

	7	14	21	28	計
JA3EMU/4	---	---	443	107	550
JA4DND/4	31	101	195	555	882
計	31	101	638	662	1432

\*DXのみ  
 \*CWは15局  
 他はすべてSSB